

意見交換会報告書

1. 開催日時 令和5年2月11日（土）14～16時
2. 開催場所 大坪コミュニティセンター
3. 出席者 伊万里市手をつなぐ育成会会員 10名
伊万里市議会広報広聴委員会委員 7名
4. 案件 障がい者本人及び家族の社会生活の現状と育成会活動について
 - ・障がい児の療教育
 - ・障がい者制度と福祉サービス
 - ・その他（投票システム、SAGA2024 他）

最初に、会の代表より手をつなぐ育成会の活動についてご説明頂き、その後、未就学児・就学グループと学卒グループの2グループに分かれ、意見交換を行いました。

【手をつなぐ育成会について】

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会は、知的障がいのある人とその家族、そして支援者（専門職、市民等）で作る全国組織で、現在は知的障がいに限らず、発達障がいや身体障がいの方とその家族等も含み、全国で約10万人の会員が所属している。

豊かで安心な地域生活を実現するため、親・家族の立場から検討研究し、政府や行政機関等に参加・提言するなどの活動をしている。

【未就学児・就学グループ】

○学校について

- ・子どもの人数に対して支援の先生が少ない。
- ・専門の先生を増やしてほしい。
- ・巡回相談を各学校、定期的にしてほしい。巡回相談は保護者が学校にお願いしないといけないので、お願いしづらい。
- ・空き教室を利用して、子どもが気軽にクールダウンできる部屋を設置してほしい。
- ・低学年は少人数クラスにして、先生の目が行き届くようにしてほしい。
- ・学校内で習い事ができるシステムができないだろうか。

○放課後児童デイ・放課後児童クラブについて

- ・デイが苦手な子の選択肢が少ないので、児童発達支援のできる放課後デイを増やしてほしい。

- ・デイの中には部屋が狭いと感じるものもあるが、設置基準はどうなっているのか。
- ・市または専門家に、運営時間に視察してほしい。
- ・放課後児童クラブにも知識のある専門の指導員を増やしてほしい。
- ・出産育休中、産後8週間は出産申し立てをすれば利用できるが、過ぎると退所しなければならない。放課後児童デイも多くて利用できない。支援クラスの子はクラブ利用できるようにしてほしい。復職する予定があれば継続して利用できるようにしてほしい。

○療育について

- ・障がいがある子の療育があるとき、兄弟児を毎週お金をかけて預けているので、免除があるといいなと思う。
- ・発達支援などの受給日数が、他県は最大23日と聞いたが、伊万里市は今年度一律15日になった。その子に合った日数が必要だと理解されていない。
- ・利用する事業所が少なく、受給日数を使うことができない。
- ・不登校は発達障がいの二次障がいともいわれているので、支援が必要な子の不登校について、相談窓口や家族へのサポートを増やしてほしい。

○その他

- ・発達検査が受けられる場所を作ってほしい。
- ・佐賀県及び伊万里市は、障がいを持つ人とのどのようなまちづくりのビジョンを持っているのか。
- ・障がい者の雇用について、一般企業の受け入れ体制の整備、及び前段階での職場体験の受け入れ協力をお願いしたい。
- ・就労と住まいが一緒になっているグループホームを建ててほしい。
- ・インクルーシブ公園がほしい。
- ・障がいがある子を持つ親は働く場所が限られてしまいます。学校など長期休みになると預ける場所がない。

【学卒後グループ】

○投票システムについて

- ・大町町では、候補者の名前を書かずに、○を付けるだけでいい投票用紙になっている。
- ・身体障がい者は郵送で投票できるが、知的障がい者はできないので拡大して欲しい。
- ・権利を実行できる環境整備が必要。

○防災避難計画について

- ・避難所の把握：一般の避難所と福祉避難所
- ・避難等要支援者に登録した後、区長さんが把握されているがどのように活用されてい

るかが見えづらい。

- ・障がい者に特化した避難訓練も必要。

○相談窓口について

- ・伊萬里百貨店が閉店すると聞いたので、そのあとに設置できないか。
⇒現在地と駅ビルとどちらが利便性が高いか検討する必要がある。
- ・障がい福祉系の窓口は、接遇や対応があまりよくないので行きにくい。
- ・職員が3年程度で入れ替わるので、申請や届け出の際その都度、説明が必要だったり、話が通じなかったりする。
- ・異動のスペンは、せめて4～5年にして欲しい。
- ・専門の人材を配置して欲しい。

○SAGA2024 国民スポーツ大会について

- ・国見台がフライングディスクの競技会場になっているが、周知が不足しているように感じる。

○児童発達支援センターの進捗状況について

○親亡き後について

- ・グループホームを作りたいが、作業所の運営で手がいっぱい。
- ・理想を言えば、市営でできないか。
- ・理想を言えば、親子で利用できるグループホームがあったらいい。

【総括】

両グループに共通する悩みとして、市窓口の担当者の人事異動サイクルが早いことにより、対応が変わってしまうことや一から説明し直さなければならないこと等の相談者の負担と、窓口の対応者の障がいに対する理解不足や寄り添う姿勢が感じられないことへの不安感がありました。今回の意見交換会で出た意見については、所管事務調査として各常任委員会において調査・提言することが望ましいと考えます。

手をつなぐ育成会との意見交換会について、今回は一回目として全ての委員会に所属する議員がいる広報広聴委員会との開催としましたが、今後は意見交換する内容によって所管する委員会と行うなどしながら、定期的を開催することを求められています。